

令和 8 年度社会福祉法人米沢市社会福祉協議会事業計画

I 基本方針

人口減少・少子高齢化の進行による家族間の支え合いの希薄化や地域社会における繋がり脆弱化のほか社会的孤立等が顕在化するなど、地域の生活課題は複雑化、多様化し、容易に解決に至らない課題が増加しています。また、昨今の米価をはじめとする物価高騰は家計を直撃し、特に低所得者世帯に深刻な影響を及ぼしています。

このような社会情勢の中、地域福祉の推進団体である社会福祉協議会には、これらの課題解決に積極的に取り組む役割が求められており、引き続き支部社協をはじめ地域住民、民生委員・児童委員、行政及び関係機関等との連携強化を図りながら、第 6 期米沢市地域福祉活動計画（令和 7 年度～令和 11 年度）に基づき、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生き生きと暮らしていくことができるよう、地域全体で支え合う地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指し事業を推進していきます。

また、全国的な社会課題となっている身寄りのない高齢者支援について、国では福祉サービス利用援助事業を拡充・発展させて、日常生活支援、円滑な入院・入所の手続き支援、死後事務支援などを提供する新たな事業の検討が進められています。このような中、身寄りのない高齢者等の支援体制の整備について、「米沢市まちづくり総合計画 2026～2035」前期基本計画に掲げられたことから、本市における身寄りのない高齢者の実態把握のほか、必要となる権利擁護支援を明らかにするため、米沢市との協働事業として「身寄りのない高齢者の現状と課題に関する調査（仮称）」（財源：遺贈寄附）を実施し、具体的な事業設計に繋げていきます。

このほか、地域福祉の向上に資する事業の検討を継続して行うほか、社会福祉法人に求められる役割を果たすため、米沢市社会福祉法人連絡協議会の一員として、各法人と連携・協働して地域における公益的な取組を進めていきます。

II 主な実施事業

基本計画 1 みんなでつながろう（連携・協働）

身近な地域でお互いにゆるやかな見守りや声かけを行い気にかけて合う関係性ができるよう行政やコミュニティセンター、支部社協、民児協、関係機関等と連携し研修会や座談会等を開催します。

実施方向	事業名・事業内容
1 町内福祉部長の委嘱と町内福祉部研修会の開催	町内福祉部長等委嘱状交付式の実施 町内福祉部長・福祉協力員の役割をお伝えするとともに意識の向上のため、新任町内福祉部長に委嘱状交付及び研修会を開催します。
2 おしよしな福祉座談会の開催支援とおしよしな福祉出前講座の充実	(1) おしよしな福祉座談会の開催支援 住民主体による地域の課題解決に取り組む意識を高めるため、おしよしな福祉座談会の開催を支援します。 (2) おしよしな福祉出前講座の実施 住民の福祉意識向上を目的としたおしよしな福祉出前講座を実施します。
3 安心して暮らせる地域づくりの推進	(1) お互いさまの関係づくりの推進 (2) ゆるやかな見守り、声かけの推進 (3) 民生委員・児童委員活動の周知 (4) 支部社協福祉活動指針（福祉 8 策）の推進 (5) 町内福祉部活動の推進

	(6) 米沢市生活支援体制整備事業（市受託事業） (7) 米沢市高齢者見守り支援事業（市受託事業） (8) 給食配送サービス事業（ふれあい型・会食型・生活支援型）
4 行政や関係機関との連携と提言	地域の福祉課題で、住民主体では解決が困難な事案について、行政や関係機関につなぐとともに、必要な福祉施策を提言していきます。
5 米沢市社会福祉法人連絡協議会との連携・協働	18の社会福祉法人が相互に情報交換を行い、地域の福祉課題を共有し、地域に暮らす人々を支えていくため地域における公益的な取り組みを行います。
6 救急医療情報キットの普及・啓発	高齢者のみの世帯や障がい者のみの世帯で必要な方に対し、緊急連絡先等の情報を記載しておく「救急医療情報キット」の普及啓発に取り組みます。

基本計画2 みんなでつくろう（活動・拠点）

地域の行事やイベントに参加して、仲間や健康、生きがいをづくりを推進します。また住民のみなさんの声を聴きながら誰もが活動できる場をつくりまします。

実施方向	事業名・事業内容
1 モデル地域を選定して地域調査の推進	モデル地域を選定し、住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう実態を把握し、地域住民や民生委員・児童委員の参加を得て、ワークショップを行い、住民同士の支え合い活動につなげます。
2 みんなが交流できる集いの場の推進	(1) ふれあい・いきいきサロン、ふれあい子育てサロン活動支援 (2) 社協カフェ～みんなのしゃべりBa～の実施 (3) 子ども楽校の実施 (4) 米沢市民みんなでグラウンド・ゴルフ交流会の共催 (5) 障がい者ニュースポーツ交流会の共催 (6) 障がい者の集いの場「にこ・かふえ」の実施 (7) 高齢者いきがい事業の実施 (8) 高齢者いきいきデイサービス（市受託事業）
3 地域食堂の支援	地域の居場所づくりや多世代交流、孤食防止となる地域食堂の支援や立ち上げ支援並びに地域食堂情報交換会を開催します。
4 コミュニティセンターとの協働事業の実施	シニアおもしろい楽校の実施 コミュニティセンターとの協働事業として、シニア世代を対象に健康づくり、仲間づくりを目的に開催します。
5 担い手「お世話好き隊」の支援	生活支援体制整備事業の一環として、住民同士の支え合いや集いの場の担い手「お世話好き隊」を養成します。
6 行政や団体と連携した防災・減災に関する取り組みの実施	町内見守り（防災）福祉マップ作成研修会の実施 地域を見て回り、マップ作成に必要な情報を集めるため、自分たちが住んでいるまちを歩き、集めた情報を基に町内見守り（防災）福祉マップを作成し、万が一の災害に備えての取り組みと住民の防災意識を向上するために開催します。

7 イベントの実施	(1) 第35回米沢市・市民福祉大会 (2) 来てける見てける知ってける「福祉の魅力祭」 (3) 体験型福祉イベント（和太鼓体験EXADON）
-----------	---

基本計画3 みんなでささえよう（相談・支援）

地域共生社会の実現に向けて、様々な福祉相談を一体的に受付する総合相談窓口を設置し、行政や関係機関と連携します。

誰でも気軽に相談できる環境をつくり、困りごとに気づいて、助け合える地域づくりを推進します。

実施方向	事業名・事業内容
1 福祉の総合相談窓口の設置	(1) 福祉相談を一体的に対応する「総合相談窓口」での対応 (2) 米沢市生活自立支援センター（市受託事業） (3) 山形県生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）・米沢市社会福祉資金貸付事業 (4) 米沢善意銀行 (5) 地域包括支援センター（西地区・南地区）の運営（市受託事業） (6) 居宅介護支援事業所の運営
2 民児協との連携	住民の困りごとに適切に対応するため、民児協と連携し、福祉課題解決に向けた取組みを推進します。
3 制度の狭間にある方への支援	制度の狭間にある方々を見逃さずに支援するため、民児協や米沢市社会福祉法人連絡協議会等の関係機関と連携をとり、支援のあり方や今後の方向性を検討します。 また、食料の調達が困難な方にフードパントリー（食料を提供する活動）を行います。
4 ボランティアセンターの充実	ボランティア活動をしたい人や地域づくりの担い手となる方の協力を得るとともに、学生の自発的な活動を促していく取組みを推進します。 (1) ボランティアセンターの運営 (2) 除雪ボランティアセンターの設置運営
5 住民主体の助け合い活動（有償ボランティア）の仕組みづくり	日常生活のちょっとした困りごとを、住民主体の助け合いで支援がなされるよう、有償ボランティア活動の仕組みづくりに取り組みます。
6 災害ボランティアセンターの育成と協働	災害ボランティアセンター構成団体及び被災地支援ボランティア団体と連携し、有事の際の災害ボランティアセンターの運営協力体制を整備します。 (1) 災害ボランティアセンター運営準備 (2) 災害ボランティアセンター連絡会議の開催 (3) 災害ボランティアの育成
7 権利擁護センターの運営及び権利擁護支援の充実	権利擁護に関する生活の困りごとの相談に応じ、関係機関へつなぎ、連携しながら支援します。また、権利擁護に関する啓発を行うとともに、連携先との関係強化のため、情報交換等の会議を開催します。 (1) 日常生活自立支援事業の実施（県社協受託事業）

	(2) 法人後見事業の実施 (3) 置賜成年後見センターの運営（三市五町運営協議会受託事業） (4) 身寄りのない高齢者の現状と課題に関する調査（仮称）の実施 (5) 市民向けセミナーの開催（終活セミナー等） (6) 権利擁護支援ネットワーク会議（仮称）の開催
--	--

基本計画4 みんなでそだてよう（育成・啓発）

地域住民の福祉活動を推進していくため、見やすくわかりやすい広報紙を作成するとともに、SNSの活用やマスコミや学生、関係機関や関係団体と協力を得ながら、情報発信に努め、福祉に関する情報を提供します。

実施方向	事業名・事業内容
1 福祉教育（福祉共育）の推進	(1) 福祉教育・福祉学習（福祉共育）の実践 「心のバリアフリー」を推進して、人としての多様性を尊重して互いに支え合う意識を醸成するとともに、地域活動の情報を発信し、地域福祉の向上のための取組みを推進します。 また、福祉教育について、こどもから大人まで全世代を対象とし、地域の中で福祉の心を育てていく取組みを推進します。実施の際は、福祉学習プログラムを活用し、“気づきと学び”を促す内容となるよう米沢市社会福祉法人連絡協議会等と協力し推進します。 (2) 「やってみよう！！赤い羽根共同募金」 (3) 福祉指定校事業、福祉指定校担当者会議
2 わかりやすい情報発信	(1) 社協だより「ほのぼの」発行 (2) 社協パンフレット・ホームページの充実 (3) SNS（LINE、インスタグラム、フェイスブック、X、YouTube等）を活用した情報発信 (4) 福祉協力店の増強 市内の企業や飲食店等と協力し、社協の情報を発信する場を増やします。 (5) 住民と一緒にのったの情報発信
3 活動基盤の強化	(1) 調査研究 地域社会における今日的課題に対する調査研究や先駆的な取組等の情報を収集し、新たな社会福祉推進事業を調査研究します。 (2) 自主財源の確保 (3) 共同募金会の協力 (4) 福祉団体事務局受託 米沢市民生委員児童委員連合協議会 米沢市シニアクラブ連合会 山形県共同募金会・米沢市共同募金委員会 米沢市ボランティア連絡協議会 (5) 福祉団体への助成 米沢市ボランティア連絡協議会 米沢市保護司会 米

	沢市遺族連合会 米沢市針灸按摩マッサージ師会 米沢市更生保護女性会 米沢市民生委員児童委員連合協議会 米沢手話サークル「年輪」 手話サークルつみ木 (6) 会の運営 理事会、評議員会、監査、正副会長会、支部長会の開催
4 P R 動画の作成	社協 P R 動画を作成し、地域住民や関係機関等を対象にさまざまな場面で見ていただき、社協活動を周知します。

地域における利用者本位の福祉サービスをめざし、住み慣れた地域で暮らし続けることを支えるため、地域福祉活動と連携した事業を展開していきます。

1 指定管理事業	ひまわり学園の管理、経営
2 受託事業	福祉バス運営管理事業
3 子育て支援事業	(1) 窪田学童クラブの運営 (2) 地域子育て支援センター「なかよしるーむ」経営